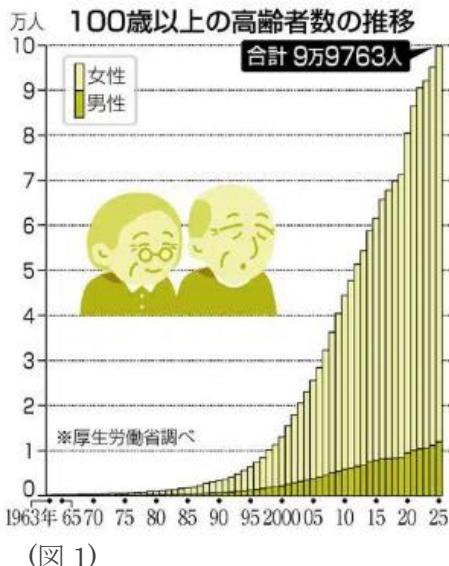




★★100歳以上 最多10万人 55年連続増し 女性88%

最多県 1位 島根県 2位 高知県 兵庫県 37位で4109人



(図1)

厚労省は「敬老の日」を前に 全國で100歳以上の高齢者は 昨年より4644人増え 約99763人となり、昭和45年以降 55年連続で過去最多と発表。女性が87784人で全体の88%、男性は11979人。女性最高齢者は114歳、男性最高齢者は111歳であった。人口10万人当たり 最多県は島根県の168.69人で13年連続記録し、高知県、鳥取県、鹿児島県と続き、最小県は埼玉県、愛知県、千葉県と続く。因みに兵庫県は37位で4109人であった。

過去の推移をみると1963年は163人、1981年に100人、1988年に1万人、2012年には5万人を超える今年は10万人に迫る勢い、2025年度中に100歳を迎える人の数は52310人となっています。(図1)

★★65歳以上の高齢者数 3619万人(29.4%)で過去最高

働く高齢者数も930万人と過去最多 総務省

敬老の日を前に 総務省まとめた総人口に占める65歳以上の高齢者数は3619万人と、去年と比べ5万人減りました。内訳で男性が1568万人(26.2%)、女性は2051万人(32.4%)を占めた。国連によると日本高齢者の割合は人口4000万人以上の世界38か国中で最高。2位はイタリア、3位ドイツ、4位フランスであった。65歳以上の人口減少は、2023年に次いで、比較可能な1950年以降2回目。出生数より死者数が増えたため総人口に占める割合は0.1ポイント上昇し29.4%と過去最高を更新しました。

また、総務省が行った労働力調査によると、働く高齢者の数は、去年930万人と前年から16万人増え、過去最多を更新しました。65歳以上の就業率は、去年25.7%で、前の年から0.5ポイント上がりました。年齢別では65歳～69歳までが53.6%、70歳～74歳が35.1%、75歳以上が12.0%となっています。「人手不足や定年延長などにより、高齢者が活躍する場が増えているので、今後も働く高齢者が増えていく」と分析しています。

★★蟲歯の原因は ミュータンス菌 食べかすによる糖分が細菌の餌に

予防として 歯磨きが基本 定期的歯科検診必要

口腔内には多種類の雑菌が存在します。特に蟲歯の原因是『ミュータンス菌』と呼ばれる細菌。細菌は食べた物の糖分を餌にして酸を作り出し、その酸が歯の表面のエナメル質を溶かして蟲歯となります。食物により口腔内が酸性(PH5.5以上)になるとエナメル質を溶かし始めます。そのため口腔内を酸性から中性に戻すため、フッ化物入り歯磨き粉や歯にフッ化物塗布等が蟲歯予防に有効であるとされています。また 加齢に伴い唾液の量が減少し、蟲歯リスクが高まります。更に 年齢と共に歯茎が下がり、歯の根元が露出した部分も蟲歯になり易くなります。また 寝る前に甘いもの、スポーツドリンクを頻繁に飲む